

かね

演題 金のなる土

「横浜花博」放射能汚染土再利用問題と
福島イノベーション・コースト構想の現在

汚染土さえも利用されるフクシマ 東電と国の企みを暴く

2026年**8月29日**(土)14時開演

13:30開場(16時30分終了予定)

わだなかこ

お話:**和田央子さん**

[放射能ゴミ焼却を考えるふくしま連絡会]

場所:崇善公民館2F

ひらつか市民活動センターA・B会議室

平塚市見附町1-8 ☎0463-31-7571

先着60名様 資料代:500円(大学生以下無料)

託児あり(無料):申し込み×切 8/10

申し込み先:こじまみちこ 090-6798-7534

こばなわみふね 070-6408-9669

E-mail:w.k@mg.scn-net.ne.jp

QRコードからも申し込めます





和田央子(わだなかこ)さんプロフィール

放射能ゴミ焼却を考えるふくしま連絡会

2001年東京より福島へ移住。2012年、環境省が原発事故で汚染された放射能汚染廃棄物の焼却炉建設計画を自宅近くで進めていることを知り反対運動を立ち上げる。

浜通りで進む産業復興政策をチェックする「イノベーション・コースト構想を監視する会」を立ち上げSNS、ブログ等で情報発信中。2025年より千葉県へ転居。

私たちの会は、2024年3月に「福島イノベーションコースト構想とは」という演題で、和田央子さんにご講演いただきました。被曝被害者を置き去りにした復興政策と軍民両用産業拠点化、政府が進める復興政策「福島イノベーション・コースト構想」とは何なのか。福島被曝被害者の思いを踏みにじるその真の目的とは・・・講演会から2年がたち、その後の福島の様子をお聞きします。

「横浜花博」での放射能汚染土再利用問題

2027年3月から9月に開催される「横浜花博」(横浜国際園芸博覧会)は旧上瀬谷通信施設跡(2015年に返還)が会場とされています。米軍基地跡の土壤汚染の心配もありますが、さらに「地平」2026年4月号のレポートで和田央子さんは「福島の復興再生汚染土の利用がされるのではないか、環境省は前向きの姿勢を見せている」と危ぶまれています。中間貯蔵施設内の汚染土は地元とは2045年までに県外に運び出す約束となっていることもあり、今では環境省や自民党がかなり前のめりとなって、汚染土が「花博」会場に持ち込まれ再利用される見込みとのことです。どうすればいいのでしょうか。



高市内閣の武器輸出解禁と「福島イノベーション・コースト構想」との関連

高市内閣は4月に防衛装備移転三原則の改定を閣議決定し、武器輸出の目的を限定してきた「5類型」を撤廃しました。戦後日本が「平和国家」の理念のもとで制限してきた殺傷能力のある武器輸出が全面的に解禁されてしまいます。今なぜ政策転換に踏み切り、どのように変わのでしょうか。復興政策の司令塔である、エフレイ(福島国際研究教育機構・双葉郡浪江町)の建設が着々と進む中、政府の復興政策である「福島イノベーション・コースト構想」との関連を語っていただきます。フクシマが新たに戦争のためにも利用されるのでしょうか。

〈福島の親子とともに・平塚〉

福島の子もたちを放射能から守る保養活動は2012年夏より29回の取り組み、121家族465名が参加しました。保養家族で避難してきた2家族の支援、神奈川県に避難している家族の「福かな裁判」や「子ども甲状腺がん裁判」なども支援しています。年2回の講演会は26回開催しています。

保養カンパをお寄せ下さい

郵便局振替口座 00200-5-82983

他行から 店名〇二九 店番029当座0082983

口座名 福島の親子とともに・平塚

アクセス

JR東海道線平塚駅西口下車徒歩7分

バス利用:平塚駅北口より
「平塚文化芸術ホール前」下車
市民活動センターは崇善公民館の2階です

自家用車利用の場合駐車場はありません
近隣の有料駐車場をご利用ください

